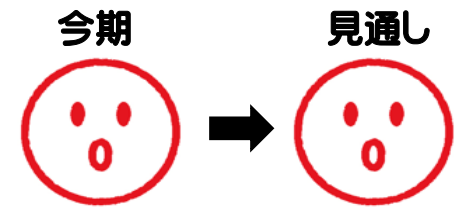


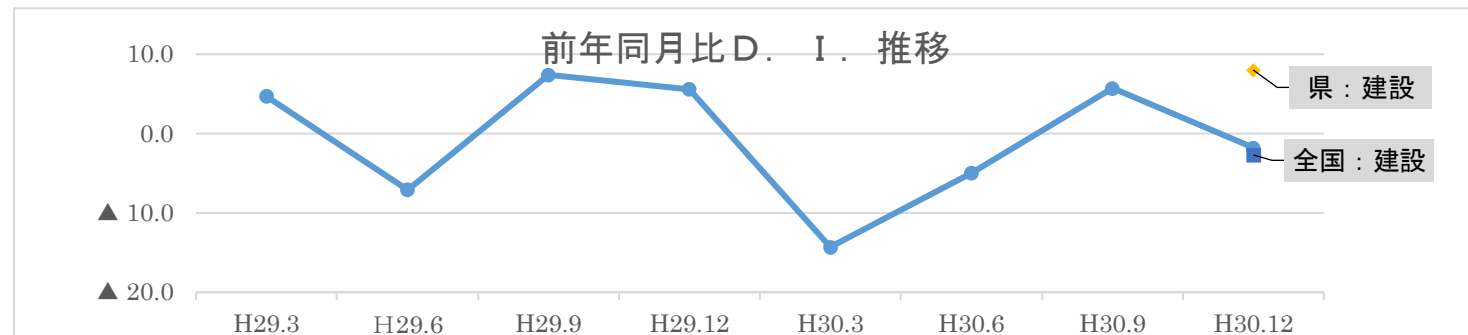
# 建設業

回答率:84.6%(55/65)



## ■丹波市の景況推移

元請の金額は上がらないが、資材・原材料価格が上昇し、外注費用も増えており利益が圧迫されている事業所もある。台風による修繕工事は一段落した。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

公共工事の請負額ベースでは前期より減少している。また、競争の激化により、落札が厳しいと判断している事業所もある。ただ、分譲地の販売は好調という回答もあり、自社独自の強みを打ち出した事業所については、住宅関連だけでなく、事務所、店舗などの引き合いも増えてきている。

## 【来期の景況予想】

消費税増税による駆け込み需要の影響から、安定した受注はあると予想している回答が多かった。しかし、増税後の費用負担増や、人材不足から十分な収益を確保することが出来ないと懸念する声もある。また、原材料についても依然として高止まりの状態であり、今後更なる値上げを予想しているところが多い。

## ■全国の景気動向

インバウンドや国内旅行の増加でホテル棟の新築・改装が旺盛で年末年始関係なく受注が多かった。増税前の駆け込み需要で新築案件も多いが、全ての費用の上昇が予想され、人材不足から減収減益の傾向が見受けられる。

## ■県下の景気動向

10月頃までは住宅着工数の伸び悩みが続いていたものの、11月からは前年同月を越える着工数となっている。また、公共工事においても、前年同月比伸び率が50%以上となっている。人手不足の対策のため、社員教育や職場環境の改善を徹底し、人・品質の向上を図っている企業が増えている。

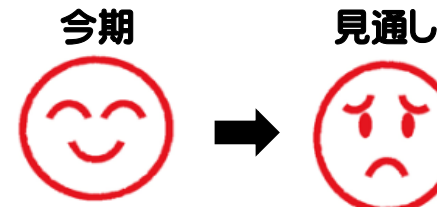
## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	3	2	5	1	15	27.3%
不変	1	12	1	5	1	4	24	43.6%
悪い (悪化+やや悪化)	2	3	2	5	2	2	16	29.1%
合計	4	18	6	12	8	7	55	100.0%

# 製造業

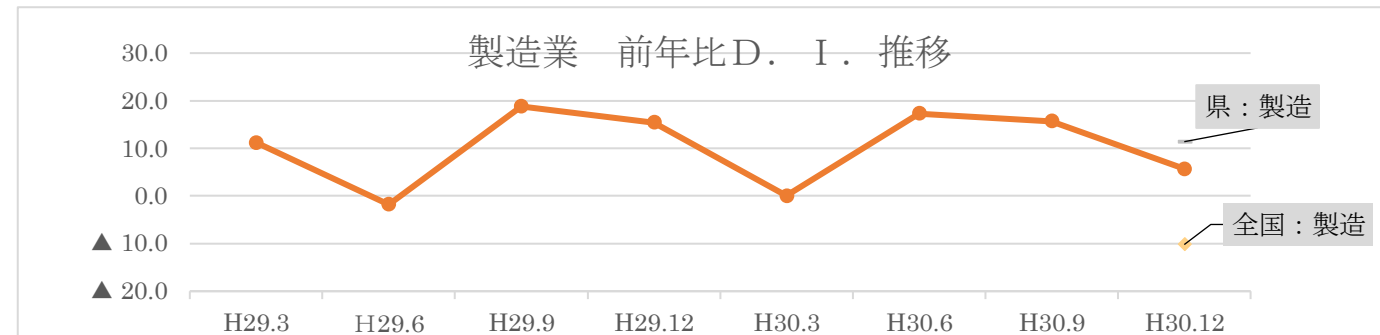
回答率:98.1%(52/53)

平成30年10月~12月期調査



## ■丹波市の景況推移

人材不足の課題は解消できていないが、生産性向上のため設備の導入や人材育成など職場環境の改善に取り組み始めている事業所も増え始めた。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

受注状況は引き続き好調に推移している。業種によっては複数社と取引ができることとなったとの回答もあった。ただ、人手不足を補うべく作業を効率化していくためには設備等投資が必要になってくると感じている事業所もあるが、製品の輸送費が更に高騰しており、利益を圧迫し設備投資に踏み出せない事業所もある。

## 【来期の景況予想】

人手不足感は依然として高いまま推移しており、今後もなかなか人手不足の脱却が進まないとの回答が目立った。また、原材料も高止まりが続くと予想しており、食料品、金属、石材等業種を問わず、収益に悪影響が出ると懸念している。

## ■全国の景気動向

受注は好調も、引き続き人手不足や働き方改革が懸念される。また、年末に掛けての受注期に入り、順調に受注できたが、原油価格の高騰、輸送コスト、副資材の値上げを転嫁できず利益がなかなか確保できていない。今後は全国の小中学校のエアコン取り付け事業が始まることから受注が期待できる。

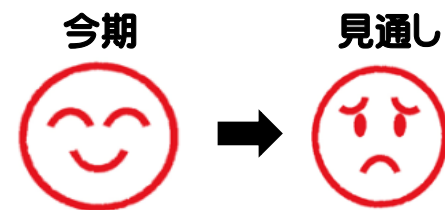
## ■県下の景気動向

年末需要の影響から受注は比較的好調であった。特に機械・金属関連、コンクリート製品、防災関連製造業では受注量が多かった。来年10月から始まる消費税の軽減税率対応に伴うレジの生産、2月から始まるフルハーネスの需要に関連する業種については引き続き受注は好調と予想している。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

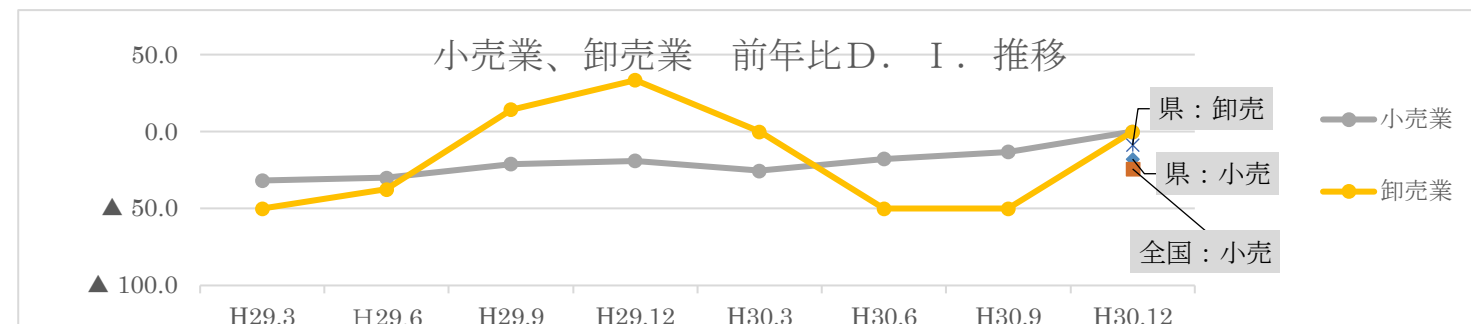
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	2	2	5	2	15	28.8%
不変	3	8	2	4	6	2	25	48.1%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	2	1	4	2	12	23.1%
合計	6	12	6	7	15	6	52	100.0%

# 小売、卸売業 回答率:89.5%(68/76)

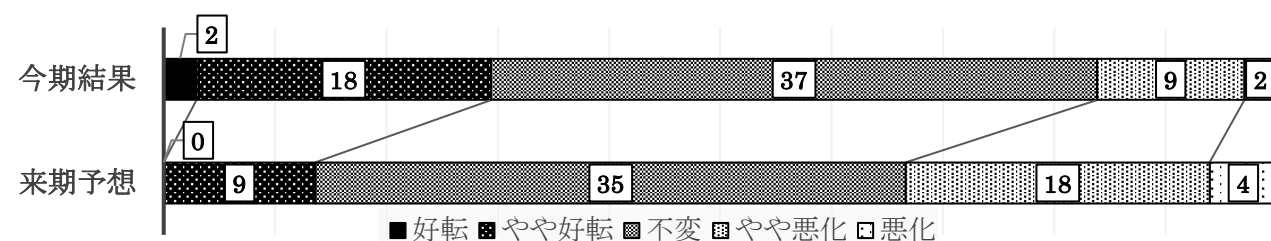


## ■丹波市の景況推移

年末に掛けて売上は回復していたが、仕入値の高騰による利益の減少、人材不足による販売機会の減少、顧客の高齢化により売上が停滞している。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

ふるさと納税の返礼品を取り扱う事業所では、年末年始に掛けて返礼品の受注発送が増加。また、ネット販売も増加傾向が続いている。一方、仕入値の高騰が影響している事業所もまだまだ多い。来店数で見ると、顧客の高齢化の影響で減少傾向であり、売上にも影響している。

## 【来期の景況予想】

年末商戦の反動で年明け以降閑散期を予想する事業所が多い。需要の停滞感として顧客の嗜好がどんどん変わってきているので、従来型の販売・サービスでは先行きは厳しい。新たなお客様にとっての価値を提供する必要がある。

## ■全国の景気動向

暖冬による影響で鍋商材や秋冬向けの衣料品など一部分で売上が伸び悩んだ業種もあったが、年末に掛けて高額な商品も売れるようになってきた。しかし、年明け以降、食料品を中心とした値上げが予定されており、販売価格への転嫁が必要となってくる。

## ■県下の景気動向

秋は好天の日が多く、百貨店等では来店客数が増加したため、14ヶ月ぶりに前年同月の売上を上回った。しかし、11月から原材料のほとんどが値上がりし、また、人件費も増加しているが、売値がそのままの商品が多く、利益が減少している。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	8	5	0	3	0	2	18	26.5%
不変	4	16	2	2	6	2	32	47.1%
悪い (悪化+やや悪化)	3	6	1	5	3	0	18	26.5%
合計	15	27	3	10	9	4	68	100.0%

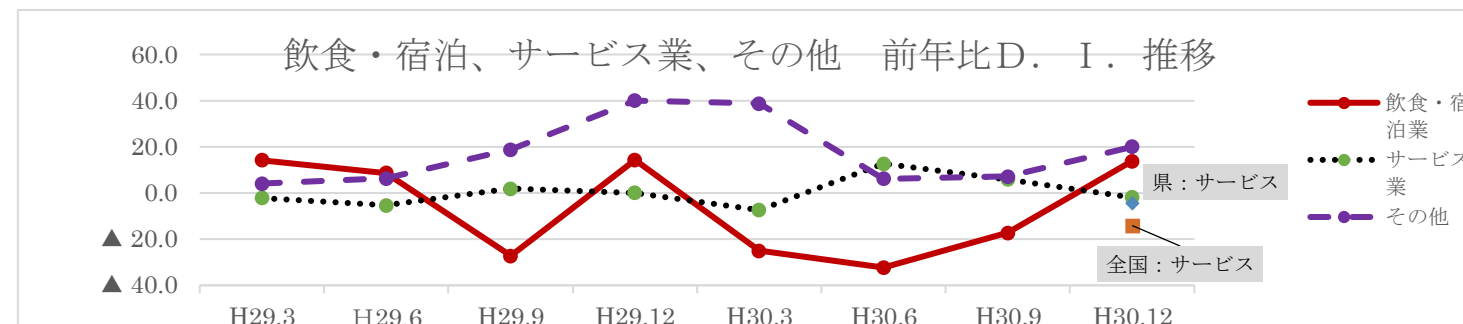
# 飲食・宿泊、サービス、その他業種 回答率:92.5%(98/106)

平成30年10月~12月期調査

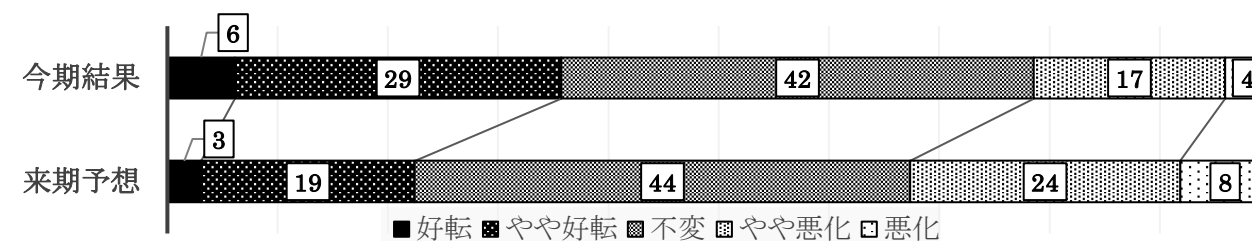


## ■丹波市の景況推移

業種によって異なるが、年末に掛けて需要が増えたため、来店客数は増加したが、仕入値の高騰により収益は減少傾向となっている。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

丹波医療センター(仮称)の建設に伴い、現場の方々の平日宿泊予約が多かった。しかし、災害復旧工事が落ち着いた地域の飲食店では現場作業員の来店が減少した。他には、商工会発行のチラシ(TAMBA NO TAKUMI)を見て来店されたお客様もあった。理美容業では後継予定者が店を手伝うことにより、新しい世代のお客様が増加した。

## 【来期の景況予想】

運輸業において、取引状況は概ね変化なく好調に推移している。燃料費が下がっていくことで、徐々に収益の改善が図られる。今後、運賃価格等も引上げも予定しており、これを機に労働者の働き方の改善と共に運転手の賃金も上がっていくと考えられる。

## ■全国の景気動向

観光地では天候に恵まれて、紅葉シーズンには例年以上の観光客で活況があった。また、輸送業関連では、建築資材関係の輸送が増え、年末に掛けて前倒しで依頼を受けている。しかし、人手不足はサービス関連業も例外ではなく、受注機会の損失を招いている。

## ■県下の景気動向

運輸・交通関連において、一般的に人手不足といわれているものの、職場環境の改善により従業員の定着率を高めている事業所もある。また、顧客に寄り添った対応や、お客様の満足度を向上させる取り組みにより、売上の維持・向上に努めている業種が増えてきている。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	12	9	4	2	2	2	31	31.6%
不変	8	14	2	4	7	7	42	42.9%
悪い (悪化+やや悪化)	2	7	3	4	4	5	25	25.5%
合計	22	30	9	10	13	14	98	100.0%